

Q

地域防災力の強化に向けての取組は

A

各種防災訓練や防災士の育成を推進していく



のり 憲
よし 由
す 須
はち 八



映像は
こちらから

Q 令和元年台風19号では42自治会に避難指示を発令し、9施設の避難所を開設した。起こりうる災害に備え、水害時等の実践的な避難訓練を実施すべきであると思うが。

A 自治会や自主防災会と連携し、各種訓練や防災講座を実施している。水害や地震を想定し、支会単位での情報伝達訓練を令和4年度に4支会、5年度に4支会実施した。残りの支会は6年度に実施し、今後は避難所運営訓練など災害時に必要な訓練を検討していく。

Q 自主防災会が結成されていない自治会が36ある。市から発令される避難情報は住民に届くのか。

A 自主防災会の結成の有無に関わらず、自治会長に電話連絡する。

Q 自治会に防災活動を推進するリーダーが必要と感じる。市内に何名の防災士資格の登録があるのか。

A 市の補助制度を利用した15名のほか、令和5年8月末現在で86名の資格取得者が居る。

Q 防災士資格取得までの流れと費用、市からの助成は。

A 防災士養成研修講座を受講して資格取得試験に合格し、併せて救命講習を受ける必要がある。資格取得費用は約6万円で、市からは費用の2分の1、上限3万円を補助している。

Q 防災士資格取得費用を市で全額負担できないか。

A 自己負担が無く、資格が得られるよう検討していく。



Q

DX資料に散見するワーキンググループの実態は

A

組織横断的な課題解決のため複数課職員で設置



まこと 真
こ ば や し
小 林



映像は
こちらから

Q LOGOチャット導入で、宛名やあいさつの簡素化は進んだか。

A 人にもよるし、大きなグループでの連絡など状況にもよるが、肌感覚として簡素化された感じがある。

Q 市のSNS、Xと公式LINEの使い分けは。

A 情報が拡散しやすいXは不特定多数に広がり、興味のある分野が登録できるLINEは特定の対象に届きやすい。

Q ネギーで寄附はできるのか。

A 今年1月の能登半島地震をきっかけに、寄附の受付を開始した。

Q ICT支援には市民のグループも多い。協働する体制は。

A すでに市民団体が講師のスマホ教室を実施。ICT支援は、職員だけでなく市民団体と一緒にやってきたい。提案があれば検討する。

Q DXで削減された時間で職員は

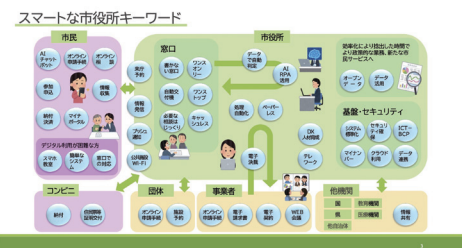
何をするか。

A 事務以外に市民の声をきく相談業務は大きな部分であり、現在まだ手が届いていないサービスもある。できた時間をそういう違った仕事にシフトして、よりきめ細かい行政サービスにしたい。

●障害者の日常生活用具給付

Q ストーマ装具も値上がりしている。基準額の変遷は。

A ストーマ装具は、障害者自立支援法に位置付けられた時の額から改定なく現在に至る。日常生活用具の基準額の見直しは、優先順位や実施時期等を考慮し検討していきたい。



Q

「川本町役場」当時のATMが撤去された経緯を伺う

A

ATM移転の意向はないとの回答があった



ひこ 彦
かつ 勝
な が
永 田



映像は
こちらから

Q 埼玉りそな銀行のATMが旧川本総合支所からワモア川本に移設されず、撤去となった。当ATMは当時、長い行列ができるほどの利用者があり、川本地区の住民はとても便利に使っていたが、現在、撤去されてしまい不便となったため、どうにかならないかとの要望を受けた。便利に利用出来たが、どうなったかお尋ねしたい。

A 「ワモア川本」は、川本公民館、川本図書館、川本総合支所が移転、併設した複合施設で、令和6年4月1日にオープンした。この移転に伴い、旧川本総合支所敷地内に設置されていた「埼玉りそな銀行」のATMが廃止・撤去となった。その経緯は次のとおりである。

令和元年12月、川本総合支所の移転及び川本公民館、川本図書館との複合化について、埼玉りそな銀行深

谷支店担当者に説明し、令和2年12月、川本複合施設建設工事設計業務委託開始に伴い、複合施設敷地内へのATM移転の意向を埼玉りそな銀行深谷支店に対し確認するが、この件について本部から連絡するとの回答を受けた。その後、埼玉りそな銀行本部から移転の意向が示されなかったため、令和3年5月下旬、市から埼玉りそな銀行深谷支店に連絡を取り、本部から移転の意向が示されなかったことにより、ATMの移転が実施設計に盛り込まれていないことを説明し、再度移転の意向を確認するも「新たな施設敷地内への移転はない」との回答を受けた。



Q

県道成塚中瀬線の小山橋以北の整備に進捗はあったか

A

530m区間全ての土地所有者の同意を得要望書提出



ゆき 之
ひろ 博
た か
高 田



映像は
こちらから

Q 成塚地内、バイパス整備につき現状を聞きたい。

A 令和6年3月、地元の成塚自治会と中新成自治会において、全ての土地所有者から同意を集め、熊谷県土整備事務所へ要望書が提出されている。

Q 何年くらいで開通使用できる様になるのか。

A 現在のところ、何年かかるかわからない。栄一翁の生家や記念館がある八基地区から、ホフマン輪窯へのアクセスが向上し、観光振興において大きな効果が期待できる。市としても早期に事業を再開していただくよう県へ要望していく。

●新一万円札発行イベントは大いに盛り上がった

Q 7月3日の新一万円札発行イベントは、来年度以降についてはどの

